古い管は破損による漏水等のリスクが増すと考えられることから、水道水の安定供給を維持していくために、町はどのような対策を考えているかを問いたい。

A 当町の水道管は、町内全域233kmにわたって布設されていますが、布設後40年以上経過したものは全体の56・9％を占めています。

しかし、布設後40年以上経過しているからといって、すべてが老朽化しているわけではなく、適切な管理を行うことによって使用年数を延長できると考えることから、日頃の点検や漏水パトロール、定期的な排泥作業等の対策を行うことで、水道水の安定供給に努めてまいります。

（町長・建設農政部長）

議席12番 斉藤 政雄 議員

選挙について

Q 年齢毎（18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～59歳、60歳～74歳、75歳～79歳、80歳以上）の有権者数について伺いたい。

A 直近、令和4年7月10日執行第25回参議院議員通常選挙時の年齢別有権者数は、18歳～19歳で計475名、内投票者数は160名、投票率33・68％。20歳～29歳で計2，166名、内投票者数は578名、投票率26・69％。30歳～39歳で計2，430名、内投票者数は808名、投票率33・25％。40歳～59歳で計6，272名、内投票者数は2，798名、投票率44・61％。60歳～74歳で計5，398名、内投票者数は2，870名、投票率54・17％。75歳～79歳で計1，376名、内投票者数は736名、投票率53・49％。80歳以上で2，070名、内投票者数は687名、投票率33・19％という結果でございました。

（選挙管理委員会書記長）

Q 選挙期日について、投票日を日曜日と設定している選挙が多いと思われるが、日曜日以外の曜日を投票日とすることも可能であると思われる。広く立候補者の政策を知っていただくため、投票日を月曜日とすることは可能であるか見解を伺いたい。

A 投票期日については、公職選挙法により、統一再選挙又は補欠選挙において、一定期間内にこれを行うべき事由が生じた場合には、4月と10月の第4日曜日にそれぞれ投票期日とすることが規定されておりますが、それ以外の選挙については、選挙の種類に応じて公職選挙法により、それぞれ管理する選挙管理委員会の議決を得て投票期日を決定しているところです。

北海道夕張郡長沼町では、令和5年2月28日に執行した長沼町議会議員選挙において、火曜日に投票を実施したとのことです。慣例により昭和38年以降の町議会議員選挙において、2月28日を投票日としているとのことで、この投票期日が広く町民に認知されていることと、2月の農閑期に投票期日を設定することがライフスタイルにあっているとのことです。当町では、町内15か所に投票所を設置して選挙を執行しており、長田第3投票区として長田小学校を投票所としていることから、今後投票期日を日曜日以外とする場合には、投票所の指定を含め、調整・検討が必要になると思われます。

（選挙管理委員会書記長）

Q 高齢者の免許返納などにより、投票所に行くことが難しい有権者への支援について伺いたい。

A 町内の65歳以上の方の運転免許保有者数は4，554名で、内、昨年度、免許を返納された方は、県運転免許センターによると41名で返納率は0・9％となっております。令和4年12月11日執行茨城県議会議員一般選挙では、県内自治体で高萩市等6自治体が、移動式期日前投票所を設置されており、同市に確認をしたところ、移動式期日前投票所を設置して、山間部の集落センター等8か所を回り、24名の有権者の投票があったとのことです。当町でも、令和4年7月10日に執行された参議院議員通常選挙において、バスを利用